

広報ふたば

2017年
8月
災害版No.75



【表紙写真】全力投球！（双葉郡スポーツ交流大会）



町民の皆さまへ

夏の訪れとともに南相馬市雲雀ヶ原祭場地において、国指定重要無形文化財の相馬野馬追が開催されました。今年、館下明夫教育長が相馬野馬追執行委員会副執行委員長代理として初陣を果たされました。避難生活が長引く中で、伝統行事の継承にご尽力いただいています関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

7月初めには、積乱雲が次々と発生する線状降水帯による記録的な豪雨が九州北部に甚大な被害をもたらしました。自然の脅威になすすべくもなく、壊れた家屋や避難所で過ごす被災者の皆さんの映像が映し出されるたびに6年前の東日本大震災のことを思い出し、胸が痛みました。

平成26年8月には広島県で死者74名となった大規模な土砂災害が、平成27年9月には鬼怒川が決壊するなど関東・東北豪雨災害が発生。平成28年4月には熊本地震が起きるなど、毎年のように想像を絶する自然災害が発生しています。全国に避難している町民の皆さまの安否を心配しながら、いつどこで発生するかわからない災害への備えについて、対応策を講じていかなければならないことを肝に銘じた次第です。

7月6日にはいわき市錦町に建設中だった特別養護老人ホーム「せんだん」と認知症高齢者グループホーム「せんだんの家」が完成し、開所式と内覧会が

行われました。広々とした空間で室内環境も整備され、入所される皆さんにとって充実した施設になっております。避難先で福祉施設の利用が年々増えている中、安心して高齢者の方々が利用できる介護保険施設として、その役割を担っていただけるものと期待しております。

7月11日、12日には平成30年度の国の予算編成を前に、佐々木清一町議会議長、岩本久人町議会副議長とともに要望活動を行いました。

国の関係機関は、復興庁、環境省、経済産業省、国土交通省、文部科学省、厚生労働省、自由民主党復興加速化本部、公明党復興加速化本部、さらに福島県選出国会議員事務所を回り、大臣や副大臣に町の現状を説明し、双葉町の復興に向けた重点事項について要望書を手交いたしました。

町としては、間もなく「特定復興再生拠点区域復興再生計画」の申請をし、国の認定を受けた後、除染、インフラなどの整備に一体的に取り組み、帰還困難区域での復興、再生に向けた環境整備の加速化を図ってまいりたいと考えております。

暑さの厳しい時節です。熱中症など健康管理にはくれぐれもご留意されまじようお願いします。

8月はお盆の月です。ご先祖様や亡くなられた方々に対しまして心からご冥福をお祈り申し上げるとともに、双葉町の復興を見守っていただきたいと思ひます。

双葉町長 伊澤 史朗

平成30年度予算の概算要求に向けた国への要望活動を行いました

7月11日、12日の2日間、伊澤町長は、佐々木町議会議長、岩本町議会副議長とともに、復興庁の吉野大臣をはじめ、経済産業省、環境省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省の大臣、副大臣などに対して、双葉町の復興に向けた重点要望を行いました。

主な要望項目は次のとおりです。

- ・被害実態に即した賠償の実施と町民の生活再建支援
- ・避難者に対する高速道路の無料措置の一括延長
- ・医療費一部負担金等の減免の継続
- ・町の意向を最大限尊重した特定復興再生拠点区域復興再生計画の認定
- ・町内の速やかかつ計画的な除染の実施
- ・「中野地区復興産業拠点」の整備や、「JR双葉駅西側・新市街地ゾーン」等の町内の生活拠点整備等に向けた支援
- ・復興財源と国の支援体制の長期的な確保
- ・帰還困難区域全域の帰還環境整備・避難指示解除に向けた取り組みの継続



特別養護老人ホーム「せんだん」 グループホーム「せんだんの家」 ー いわき市で開所式 ー



7月6日、社会福祉法人ふたば福祉会が運営する特別養護老人ホーム「せんだん」とグループホーム「せんだんの家」が、いわき市錦町で業務を再開し、開所式が行われました。

震災後、これまで一部の業務を休止しておりましたが、再開を望む声が多く上がっていたため、いわき市での業務再開に向けて準備を進め、開所式を迎えられました。

式では高野一美理事長が「優しさと思いやりのケアサービスを提供し、笑顔の絶えない施設を目指していきます」

と式辞を述べ、続いて伊澤史朗町長が「全国の避難先でお世話になっている町民が戻れる施設ができました。町民の皆さんが、安心して高齢者のご家族を任せられる介護保険施設として期待しています」と祝辞を述べました。

式終了後には、高野理事長、伊澤町長、佐々木清一町議会議長などが完成した施設の前でテープカットを行いました。

施設内は、とても広い空間に外からの日差しが優しく入り込み、利用者の方々が落ち着いて生活できる雰囲気となっています。

福島県復興公営住宅 (いわき市勿来酒井団地)の 整備状況(本年6月末時点)

- 基盤整備工事(造成工事中・進捗率91%)
 - 共同住宅(87戸)※整備保留分除く
(建築工事中・進捗率23%)
※共同住宅1棟・21戸は整備保留
 - 木造住宅(72戸)(今秋着工予定)
- なお、入居開始時期は、平成29年度後期の予定です。

【問い合わせ先】

復興推進課 ☎ 0246-84-5203



東京電力ホールディングス(株) に対し要求書を提出

6月27日、新たに就任した東京電力ホールディングス(株)小早川代表執行役社長に対し、伊澤町長が佐々木町議会議員、岩本町議会副議長同席のもと、町民の被害実態に即した賠償や、農林業者及び商工業者に対する営業損害に係る賠償の迅速かつ確実な実施、町有財産(土地・建物)に係る損害賠償方針の早期提示、福島第一原子力発電所の早期かつ着実な廃炉の実施と双葉町の復旧・復興に向けた取り組みへの協力を強く要求しました。





◆ 温かいご支援を ◆ ありがとうございます ◆

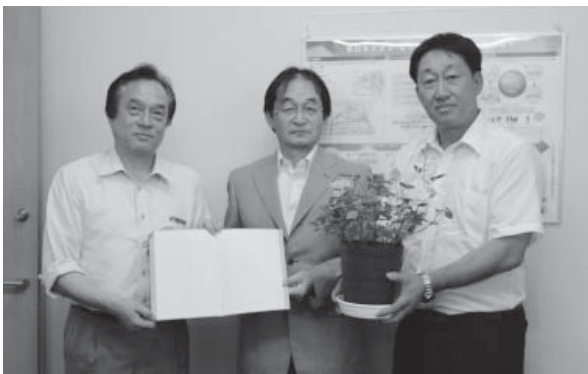


6月17日、茨城県石岡市の今泉文彦市長がいわき事務所を訪れ、絵画を2点寄贈していただきました。

今泉市長から「双葉町が一日も早く復興することを願っています」と、伊澤史朗町長に手渡されました。

いわき事務所2階に掲示していますので、立ち寄った際にご覧ください。

町立小学校からバラの鉢植えをプレゼント



7月3日、町立小学校の菊池泰高南小校長と堀内弘志北小校長がいわき事務所を訪れ、児童が総合学習の時間に、双葉町のバラの名所であった「双葉ばら園」の岡田勝秀さんから指導いただいて植栽したバラの鉢植えを伊澤史朗町長へ手渡されました。児童からいつも行事がある度に来てくれる伊澤町長にプレゼントしたいという声があり、伊澤町長への作文と手書きのイラスト付きで描かれたバラの育て方も添えられていました。

バラの鉢植えは、いわき事務所ですぐに育てていきます。

ふたばスポーツフェスティバル2017 オリンピックデー・フェスタ in ふたば

詳細決定!!

Team JAPAN ★三宅 宏実(ウエイトリフティング) ★伊藤 華英(水泳/競泳)
参加アスリート ★杉本 美香(柔道) ★田中 琴乃(体操/新体操) ★山中 詩乃(近代5種)



プログラム

10:30	開会式 ゲスト紹介・選手宣誓・ラジオ体操 等
10:55	スポーツプログラム 手つなぎ鬼、宝ひろい、5色玉入れ
12:20	昼食休憩
13:00	記念撮影(参加者全員で)
13:15	オリンピックQ&A
13:30	閉会式 ハイタッチ・サイン会
14:30	終了

○開催日時：10月8日(日) 受付開始 9:30～

○会場：いわき市立南部アリーナ

○参加対象：双葉町民

※7月15日発行のふたばのわ7月号に、詳しい内容を掲載したお知らせ(参加申込書・承諾書)を同封しています。参加希望の方は、必要事項を記入の上、下記申込先までご持参・郵送・FAXをお願いします。

なお、町ホームページにも参加申込書・承諾書を掲載しています。

○申込期限：8月18日(金) 必着

【申し込み・問い合わせ先】

教育総務課 いわき市植田町中央1-16-13

☎ 0246-84-5210

FAX 0246-84-5248

双葉郡スポーツ交流大会 結果のお知らせ



- バレーボール…優勝
- 剣道…西崎 仁さん 準優勝
- 野球…第3位

7月9日、浪江町と広野町を会場に平成29年双葉郡スポーツ交流大会（旧双葉郡総合体育大会）が開催されました。双葉町からは野球、バレーボール、剣道競技に出場し、選手の皆さんはそれぞれの避難先から参加しました。



開会式は、浪江町地域スポーツセンターで行われ、8町村それぞれの町旗を先頭に選手の皆さんが整列。双葉郡体育協会会長の馬場有浪江町長をはじめ、来賓の方々が選手へ激励の言葉を送りました。

開会式終了後は、競技ごとに会場に分かれて試合を開始しました。当日は大変気温が高くなりましたが、選手の皆さんが、選手の皆さんは暑さに負けないはつらつとしたプレーで各会場を盛り上げていました。



見事、優勝したバレーボールチーム



1回戦、富岡町に勝利した野球チーム

バレーボールは、浪江町地域スポーツセンターで行われ、双葉町チーム（菊池直子監督）は檜葉町、浪江町と戦い2試合とも勝利。セット率で全出場チーム上位となり、見事優勝を勝ち取りました。

剣道は、2人の方が出場し迫力あるプレーで会場を沸かせ、西崎仁さんが準優勝と好成績を残しました。

野球は、広野町総合グラウンドで行われ、双葉町チーム（加藤秀樹監督）は1回戦を富岡町と戦いました。序盤からリードしていましたが、最終回に同点に追いつかれ、出場選手9人で抽選の末、勝利を勝ち取りました。2回戦は浪江町と戦い、最後まで粘りあるプレーを見せてくれましたが惜しくも敗れてしまいました。



剣道に出場し、準優勝の西崎仁さん（左）と本田喜則さん

第70回 福島県総合体育大会 県民スポーツ相双地域大会（8月6日開催） 組み合わせのお知らせ

- 壮年ソフトボール
第2試合目 双葉町 対 浪江町 10:30頃～
場所：相馬市光陽ソフトボール場
- 9人制バレーボール
第2試合目 双葉町 対 浪江町・富岡町の勝者 10:30頃～
場所：新地町立新地小学校

応援よろしく
お願いします!!

- 渡辺 浩美さん（三字）
- 榎内 宏さん（羽鳥）
- 伊藤 吉夫さん（新山）
- 箭内 充さん（山田）
- 伊澤 郁夫さん（三字）
- 吉田 一弘さん（郡山）
- 新家 俊美さん（浜野）
- 渡部 昭洋さん（郡山）
- 白井 富夫さん（三字）
- 本田 喜則さん（郡山）

開会式の席上で、平成29年度双葉郡体育協会の表彰が行われ、双葉町から10人の方々がスポーツ功労賞を受賞しました。受賞された方は次のとおりです。

東日本大震災による建物の《家屋被害認定調査》を実施しています

1. リ災証明書発行までの流れ

この調査は、東日本大震災により被害のあった居住用家屋（以下「住家」）について、次の順に調査・認定します。（申請から認定結果通知まで約4か月）

被災者から申請 ➡ 建築士の調査 ➡ 住家の損壊程度認定 ➡ リ災証明書の発行

2. 家屋被害認定調査の対象者

町の帰還困難区域内にあって、これまでリ災証明書が発行されていない住家。（ただし、長期間の居住不能としてリ災証明書が発行されている場合を除く。）

3. リ災証明書の主な使いみち

「被災者生活再建支援制度」を利用する場合。
「住家解体」を環境省に申請する場合など。

4. 調査対象物件

調査対象者が住んでいた家屋が対象。

5. 調査内容

- ①外観調査のみ（一次調査）
- ②内部及び外観調査（屋根、壁、傾きなど）
所有者の立会が必要（二次調査）
※放れ家畜、野生動物やカビ等による被害は、調査の対象外です。

6. 調査申し込み

申込書は、いわき事務所と埼玉支所及び郡山支所に準備しています。なお、連絡いただければ郵送いたします。また、町のホームページから印刷も可能です。添付書類は、申込者の運転免許証等身分証明書の写し。借家人が申し込む場合は、賃貸契約書の写しが必要です。

【問い合わせ先】 戸籍税務課 管理徴収係 ☎ 0246-84-5204

コンビニエンスストア等における住民票などの各種証明書の自動交付サービスの一時停止について

コンビニエンスストア等におけるマイナンバーカードを利用した住民票などの各種証明書の自動交付サービスについて、システムの改修作業のため、証明書の発行が、次の期間停止されますのでご注意ください。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

〈停止期間※〉 平成29年8月10日（木） 6時30分から23時00分まで（終日）

〈出力が停止される帳票〉

住民票、印鑑証明書、戸籍謄本（抄本）、戸籍の附票、所得・課税証明書

※コンビニエンスストア等における証明書等の自動交付サービスの利用可能時間は6時30分から23時00分までです。

【問い合わせ先】 戸籍税務課 戸籍係 ☎ 0246-84-5204

中間貯蔵施設に係る 弁護士相談窓口のご案内（8月）

◇ 開催場所及び開催日時

場 所	月 日	時 間
双葉町 いわき事務所	8月 3日（木）	午後2時～ 午後5時
双葉町 郡山支所	8月17日（木）	午後2時～ 午後5時

◇ 申 込 方 法

事前申し込みになりますので下記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

【申し込み・問い合わせ先】

建設課 復旧復興係 ☎ 0246-84-5209

受付時間 午前8時30分～午後5時15分（平日）

年金請求書の手続き漏れは ありませんか？

老齢基礎年金を受け取るのに必要な期間（受給資格期間）が、「25年」から「10年」に短縮されることになりました。日本年金機構では、これまでに対象となる方に黄色の封筒（A4サイズ）をお届けしています。制度の開始は、平成29年8月1日（最も早い年金のお支払いは平成29年10月）です。まだ、請求手続をされていない方は、今すぐねんきんダイヤルにお電話をお願いします。

予約の上、年金事務所にて手続を行ってください。

黄色の封筒

が届いた方は
年金
を受け取れます。



今すぐ予約のお電話を！

「ねんきんダイヤル」
☎ 0570-05-1165
(いい老後)

国民健康保険医療費の お知らせの送付について

今年度は8月下旬に双葉町国民健康保険に加入されている方の世帯主の皆さまの避難先住所へ「国民健康保険医療費のお知らせ」を送付いたします。今回は、おおむね平成28年3月から平成29年2月に医療機関を受診した分についてのお知らせとなる予定です。世帯の中に国民健康保険を使用して、医療機関を受診した方がいない場合や死亡・転出された場合は送付されません。

医療費のお知らせは請求書ではありませんので、支払手続き等は不要です。医療費を確認していただくことにより、健康管理への認識を深めるとともに、医療機関を適正に受診していただくことが目的です。世帯単位での作成となり、個別に送付することはできませんので、ご了承ください。

なお、このお知らせは再発行できませんので、大切に保管してください。

医療費を大切にするためにできること

- ◇かかりつけ医を持ちましょう。
- ◇医療機関を受診する際は、お薬手帳を持って行きましょう。
- ◇同じ病気で複数の医療機関を受診することは控えましょう。
- ◇緊急時以外は時間外に医療機関を受診することは控えましょう。

【問い合わせ先】

健康福祉課 国保年金係 ☎ 0246-84-5205

平成29年度

個人事業税の課税のお知らせ

個人事業税は、県内に事務所を設け、物品販売業や不動産貸付業など、法律で定められている事業を行う個人の方に納めていただく県の税金です。

平成28年分の所得について課税となる方には、平成29年度個人事業税の納税通知書を8月10日（木）に発付します。（課税額が1万円以上の場合は、8月と11月の2回に分けて納付となります）なお、所得税の確定申告時期等によって、納税通知書の発付時期が遅れることがあります。

【問い合わせ先】

相双地方振興局県税部課税課 課税第一チーム
☎ 0244-126-11126

有期雇用で雇われている皆さんへ

平成30年4月から無期労働契約への
転換申し込みが本格化します。

1年間の期限が定められて雇用されているなど、有期雇用契約であっても何度か更新されて通算5年を超えたときは、労働者の申し込みにより使用者は期間の定めのない労働契約に転換しなければなりません。

詳しくは「[無期転換サイト](#)」で検索するか、左記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】 福島労働局 雇用環境・均等室

☎ 024-1536-14609

離れて暮らすお子さんやお孫さんに町から タブレットを貸与できる可能性があります！

タブレットを通じて町の情報やYouTube公式チャンネルで町内の様子・イベントを配信しています。通信に伴う費用は一切かかりませんので家族が集うお盆の機会にぜひご検討ください。

●対象となる方（世帯）

平成23年3月11日時点において双葉町に住所を有していた方（世帯）。

原則として、避難先世帯につき貸与する端末は1台としていますが、単身赴任や、やむを得ない事由により避難先世帯とは別の場所にお住いの方（分離世帯）に対して端末の貸与を認めています。

（ただし、分離世帯の方が学生の場合は貸与不可となりますのでご了承ください。）

●申し込み方法

「ふたばのわ」（4月15日号）に同封している申込書及び借用書（兼同意書）に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒にて郵送ください。書類がない方は下記の問い合わせ先にご連絡ください。

●募集期間

平成29年4月17日（月）～平成29年9月29日（金）

●募集台数

600台（※先着順に受付し、600台に達した時点で終了します。）
残りわずかですのでお早めにお申し込みください。

【問い合わせ先】

ふたばアプリ運営サポートセンター ☎0120-274-280
（平日9:00～18:00）

町では、町民の方へタブレット端末を無償貸与し、迅速な情報提供と町民の交流機会の創出などを図っています。現在タブレット端末末を利用されてない町民の方を対象にしたタブレット端末の追加募集を行っております。希望される方は募集期間中にお申し込みください。



好評につき、ふたばアプリのコミュニティ広場で使える新作スタンプも続々と登場！
可愛いキャラクターで気持ちを伝えてみよう。

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇輸送について（7月11日現在）

▶双葉町内中間貯蔵施設保管場の試験輸送の状況は下記のとおりです。

搬出市町村		搬入量(袋)※
浜通り	南相馬市	569
	双葉町	11,482
	浪江町	7,947
	飯館村	9,066
中通り	伊達市	1,450
	二本松市	18,907
	本宮市	4,810
	桑折町	4,121
計		58,352

※フレキシブルコンテナ等1袋の体積は1m³と換算して表示する場合があります。ただし、1袋1m³より小さいフレキシブルコンテナ等もありますのでご注意ください。

◇施設の整備状況

昨年11月から中間貯蔵施設の受入・分別施設及び土壌貯蔵施設の整備を行っているところですが、受入・分別施設について、6月7日から除染土壌を用いた試運転を開始いたしましたので、お知らせします。今後、設備の稼働状況について確認を進め、本年秋頃を目途に除染土壌の貯蔵を開始することを目指して、取り組んでいきます。

※お盆期間中（8月11日～8月16日）は輸送を休止する予定です。

◇保管場及び陳場下交差点の放射線監視

- ▶空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
- ▶中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



◇福島環境再生事務所の名称変更について

福島環境再生事務所は、7月14日をもって福島地方環境事務所に名称変更いたしました。福島地方環境事務所の業務、担当課等につきましては、これまでと変更ありません。

【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵施設等整備事務所 調査設計課 ☎ 024-563-1293

富岡町内における簡易裁判所の手続き案内について

裁判所では、8月17日（木）から、次のとおり、富岡町内において手続き案内及び受付事務を開始いたします。不明な点は下記問い合わせ先までご連絡ください。

- 1、日時** 毎月第1、第3木曜日
午前10時から午後3時まで
- 2、場所** 福島地方法務局富岡出張所庁舎内
- 3、内容** 手続き案内・受付事務
 - 建物の明け渡し、お金の貸し借りや交通事故の損害賠償など、簡易裁判所で扱うことのできる民事事件手続きの概要や申し立て方法の案内
 - 訴状、調停申込書、支払督促申込書など福島富岡簡易裁判所の管轄に属する民事事件の受付なお、受付後の事件処理は、郡山簡易裁判所で行います。

【問い合わせ先】 郡山簡易裁判所 ☎ 024-932-5697

浜野行政区からのお知らせ

大字総会・交流会を下記のとおり開催しますので、ご参加ください。

日 時：9月17日（日）～18日（月）1泊2日
総 会 午後3時 交流会 午後6時
場 所：湯本 吹の湯
いわき市常磐湯本町吹谷48
☎ 0246-42-2158

参 加 費：大人一人（泊） 16,000円
交流会（食事） 8,000円

申込締切：8月17日（木）

申 込 先：

区長 菅本 洋 ☎ 080-1655-8858
会計 荒木 茂 ☎ 090-4317-6063

皆さんの参加をお待ちしています！

総会・交流会

細谷行政区



6月17日、18日、いわき市の新舞子ハイツにおいて「第6回細谷の集い・交流会」を開催し、県内外から20世帯、約30人が参加しました。初めて参加した方もいて、久しぶりの再会に喜び合い、充実した時間を過ごしました。

開会に先立ち、東日本大震災で亡くなられた方々へ黙とうを捧げ、安らかなご冥福を祈りました。

総会に入り、初めに大橋庸一区長から、避難生活を続ける参加者の皆さんを労う言葉と、細谷を離れてどこに住んでも細谷が「忘れがたき故郷」であること、復興にもかかわらずたいので双葉町内に滞在施設の充実等を希望する等のあいさつがありました。

今回、来賓として伊澤史朗町長と金田勇副町長が出席され、伊澤町長から当面の町政への取り組みや復興拠点構想の具現化へ向けて、重点除染、インフラ整備等を鋭意進めていることの説明と細谷住民の今後の健勝を祈念するあいさつがありました。

基本的な報告では、大橋区長から東京電力への細谷行政区としての賠償の取り組みや羽山神社の補修、元フラガールの猪狩梨江(旧姓・大森)さんへの労いとして、花を贈呈したこと等の説明がありました。議事では、細谷会計の決算、次年度の予算等が承認されました。

役員選出では、次年度の区長に高島学さんが満場一致で選ばれました。

その他として「医療費減免、高速道路無料化」を次年度も継続へ向けて更なる関係機関への働きかけを要望しました。

交流会では、久しぶりの再会で会話が盛り上がり、恒例となったビンゴゲームでは一喜一憂し、夜遅くまで現況を語り合い懇親を深めました。

翌朝、別れを惜しみながら次回の再会を約束し、県内外の各避難先に元気に出発しました。

—東京ふれあい双葉会— 会員の皆さまへ

◆ふるさと絆ツアー◆ 福島に行って交流会と観光をしませんか

今回は、**県北ふたば会(福島市)**の皆さんとの交流会です

○開催日：9月21日(木)～22日(金)

〈バス乗車の集合場所と時間〉

- ・東京駅八重洲(鍛冶橋)
午前8時30分
- ・大宮駅
午前9時30分

○申込締切：8月15日(火)

- ※行きの昼食代・宿泊代は無料
- ※宿泊地は土湯温泉

【申し込み・問い合わせ先】

- 谷 尚之
☎090-7072-0959
- 和泉 英二
☎090-8921-3907
- 佐藤 孝一
☎080-5571-3694



昨年開催した県南双樹会との交流会

総会・交流会

寺松行政区



6月24日、25日、寺松行政区の総会・交流会を郡山市の磐梯熱海温泉ホテル華の湯において開催し、県内外の避難先から31人の方々が参加しました。

総会に先立ち、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故により避難各地において亡くなられた方々へ黙とうを捧げ、ご冥福を祈りました。

藤田光成副会長の司会により進行し、初めに石田翼区長のあいさつでは、今年度は新たに地縁団体の許可申請を行い、認可をもらった報告や寺松行政区の現況報告がありました。

今回は来賓に伊澤史朗町長と金田勇副町長をお招きしての総会であり、伊澤町長から、双葉町の避難後の経緯から復興まちづくり第二次の概要説明、町内復興拠点を早期に整備するとともに、町民一人一人の復興・生活再建を基本理念として、町の再興、町民の絆の維持結びつきを目標として鋭意取り組んでいきたいという話のあと、寺松行政区には復興ICができるという説明もあり、参加者は真剣に聞き入っていました。参加者からの質問などにも丁寧に答えていただき、皆さんは理解を深めていました。また、議事に入る前に、寺松行政区から医療費減免及び高速道路無料化の要望を提出しました。

続いて、石田区長を議長に選出し議事に入りました。高野光夫運営委員から平成28年度一般経過報告、収支決算報告、平成29年度予算案の報告があり、全て承認されました。

総会終了後、松本汀運営委員の乾杯のご発声により懇親会に入りました。久々の再会に、参加した皆さんは時間の過ぎるのも忘れて、懇親を深め楽しいひとときを過ごしていました。

翌朝は、楽しかった思い出を惜しみながら、またの再会を約束して各避難先へ戻られました。

相双・地産地消で“野菜が主役！メインのおかず”料理コンテスト

福島県相双農林事務所では、地場産農林水産物と県産農林水産加工品の家庭での消費拡大につなげるため、家庭で気軽に作れる野菜が主役でアイデア満載の料理レシピを募集します。

入賞者には賞品もございますので、ふるってご応募ください。

〈応募期間〉

8月1日(火)から9月10日(日) ※当日消印有効

※詳細は、福島県相双農林事務所のHPをご覧ください。

※インターネットをお使いいただけない方は、資料をお送りしますので、お問い合わせください。



【問い合わせ先】

福島県相双農林事務所 企画部

☎ 0244-26-1153

FAX 0244-26-1181

◆◆ 双葉中学校（昭和43年度卒）同窓会 ◆◆



6月17日、18日、いわき市勿来温泉「関の湯」において、双葉中学校（昭和43年度卒）の同窓会が開催され、27人の方が参加しました。

同窓会は、渡邊勇さんの司会により進められ、幹事あいさつの後、猪熊（旧姓井上）照子さんの乾杯でスタートしました。久しぶりの再会で大盛会の中、28会会長武内裕美さんのあいさつ、前双葉町教育長半谷淳さんの在任中のお礼の言葉がありました。

また今回は、仕事を終わらせて所沢市から駆け付けてくれ

た相川菊彦さん、そして何十年かぶりに参加した中井宏さん、陸上自衛隊を長年務めた佐々木徳二さんの参加もあり、3時間という時間はあっというまに過ぎてしまいましたが、二次会、三次会と日付が変わっても話は尽きず、楽しいひとときを過ごしました。

私たちの同窓会は、平成27年からは毎年開催されて、来年は竹林新一さんが幹事で開催されますので、昭和43年度同窓生はぜひ参加くださるようお願いします。

NPO法人「かながわ避難者と共にあゆむ会」との交流



7月8日、神奈川県横須賀市内において「双葉町交流会 ふるさとの集い」が開催されました。

今回の交流会は、震災直後に被災地にボランティア活動をされていた方々が主体となった「NPO法人 かながわ避難者と共にあゆむ会」と双葉町の共催で開催され、東京、神奈川の近隣に避難されている方といわき・まごころ双葉会の方々が参加しました。

はじめに、伊澤史朗町長より震災直後から長い支援をいただいている、あゆむ会の方々への感謝のあいさつがありました。その後、あゆむ会の山内淳事務局長、いわき・まご

ころ双葉会の木幡智清会長からあいさつがありました。

また、伊澤町長から町の現状報告と本年3月に策定した「双葉町復興まちづくり計画（第二次）実施計画」の概要について話し、中野地区の復興産業拠点整備や復興シンボル軸の県道整備事業、復興祈念公園、町の復旧・復興の各種事業を職員一丸となって取り組んでいることを説明しました。

参加者の懇談では、お互いの近況や双葉町への思いなどが語られ、和やかな雰囲気の流れ会となりました。

最後に参加者全員で記念撮影し、この交流会の継続的な開催を参加者全員で誓い合いました。



YoY (ワイワイ) 交流会 in 群馬前橋を開催しました

6月23日、YoY (ワイワイ) 交流会 in 群馬前橋を群馬県にお住まいの方に限らず、近隣にお住まいの方も参加して開催しました。

集合場所であった三夜沢赤城神社の参拝を行ったあと、この日のメインであったウィンナー作りを行いました。皆さん初めての体験で、機械を使って肉を腸へ入れていくのですが、詰めすぎてパンクしたり、先端を縛り忘れて肉が出てきてしまったりなど、ハプニングの連続で笑い声が絶えることなく作業は続けました。

出来上がったウィンナーをボイルしている間に昼食をとりました。厚さ1cm以上もあるポークステーキ定食に皆さん圧倒されながら、お腹いっぱいではありましたが、ボイルされたウィンナーと一緒にとてもおいしくいただくことができました。

その後、荻窪公園での紫陽花散策をしました。本来16,000株が咲く公園ですが、時期が早かったこともあり数種類しか咲いていなかったことは残念でした。

少人数での開催となったこともあり、皆さんすぐに打ち解け、色々な話をしながらワイワイ・ガヤガヤの楽しい交流会となりました。

今回は9月ごろを予定していますので、皆さんぜひご参加ください。

いわき・まごころ双葉会 セ七夕飾り制作 ～薄磯団地自治会との交流～

7月7日、いわき市内郷にある常磐教会において、いわき・まごころ双葉会の七夕飾り制作が行われました。今年も昨年に引き続き、交流活動が続けているいわき市の薄磯団地自治会と合同での制作となり、約40人の方々が参加されました。

今年で5年目の制作ということで、手際よく作業が進められ、あっという間に七夕飾りが完成しました。今年の飾りには、快水浴場百選に選ばれた双葉海水浴場と、今年7年ぶりに再会する薄磯海水浴場の写真が「復興へ」という文字とともにあしらわれており、2つの地域がともに復興へ向けて歩んでいく想いが込められていました。

完成した七夕飾りは、8月6日、7日、8日に開催される「平七夕まつり」で、いわき駅周辺に飾られる予定ですので、ぜひ足を運んでご覧ください。



第56回福島県芸術祭開幕式典・開幕行事

『生きる力 文化の力は 相双から』をメインテーマに相双地区の文化団体による伝統芸能、太鼓演奏、合唱等の発表会が開催されます。

双葉町からは、【コーラスふたば】が出演しますので、ぜひお問い合わせの上ご覧ください。

○日 時：9月3日(日) 開場：12時
開会：13時

○場 所：相馬市民会館
○入場料：500円

【問い合わせ先】

・相馬市教育委員会 生涯学習課文化係
☎0244-37-2278
・双葉町教育委員会 生涯学習係
☎0246-84-5210

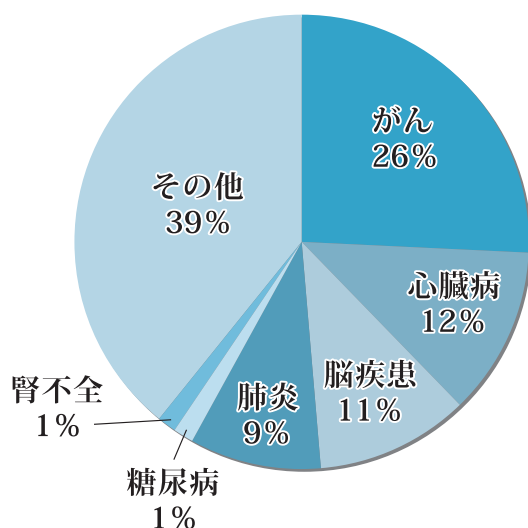
受けていますか？ 健康診査・がん検診

健康診査・がん検診は大切な身体のメンテナンスです

日本人の死亡原因の約3割はがんです。双葉町でも3割弱の方ががんで亡くなっています。がん検診を定期的に受け、早期発見に努めましょう。がんは病気が進行してしまうと治癒率が下がります。自覚症状のない早期に見つけ、早期治療につなげることが大切です。早期であれば治せる可能性が高く、また治療も軽くて済みます。

死因の2番目・3番目に多い心臓病、脳血管疾患（脳卒中）などの生活習慣病は、初期の自覚症状がほとんどなく、気づいたときには症状が進んでいるという場合が少なくありません。国と比べて双葉町では心臓病、脳卒中による死亡が高い傾向にあり、注意が必要です。初期に気づくために、健康診査を受けて、異常の有無のチェックや昨年度との違いをチェックし、健康づくり・生活習慣の見直しをしましょう。健康福祉課では健診結果説明会などで健康相談を行っています。健診の結果が気になるがどうしたらいいかわからない方はぜひご相談ください。

双葉町の死因



【健康診査・がん検診について】

健康診査

血液検査・尿検査・血圧測定など一般的な検査を行います。生活習慣病の予防や早期発見のために大切な健診です。双葉町では心電図検査や眼底検査も項目に入っており、とても詳しい健診です。

肺がん検診

胸のレントゲンを撮影します。

胃がん検診

バリウムを飲んで胃のレントゲン撮影をします。

大腸がん検診

便に血液が混じっていないか調べる検診です。検査容器に便をとり提出するだけの簡単な検診です。

前立腺がん検診

健康診査の血液で調べることができます。

子宮頸がん検診

子宮の入り口（頸部）の細胞検査をします。

乳がん検診

視触診・マンモグラフィ検査です。

【総合健診（健康診査・がん検診）の受け方】

◆避難先が福島県内か県外かで受け方が異なります。

1、福島県内に避難先住所を登録している方

- ・6月末に送付した、各種健（検）診の意向調査票の回答内容に基づき、健診日が近くなりましたら受診録や容器を発送します。意向調査票の返送を忘れてしまった方・意向調査票より健診項目を追加したい方は双葉町健康福祉課（☎0246-84-5205）へご連絡ください。

2、福島県外に避難先住所を登録している方

- ・双葉町が委託している「結核予防会」より総合健診のご案内が7月中旬頃に送付されています。詳しい申し込み方法などにつきましては、ご案内の中にある『結核予防会予約センター』へご連絡ください。

平成28年度内部被ばく検査の結果について

～ 町が実施した平成28年度の検査結果について報告いたします ～

◇ ホールボディカウンター（WBC）による内部被ばく検査 ◇

検査の人数：166人

（検査場所ごとの内訳は下記のとおり）

検査結果

- ・99%以上の方は、放射性物質が検出されませんでした。
- ・セシウム134および137が検出された方は1人でした。
- ・預託実効線量*は全員が1mSv未満でした。

受検者数	いわき事務所	35人
	埼玉支所	41人
	ひらた中央病院	90人
	合 計	166人

このほか、福島県が実施しているWBCによる内部被ばく検査を受検した方は次のとおりです。

○車載式ホールボディカウンター

（県内応急仮設住宅等5カ所） 80人

- ・セシウム134および137が検出された方はいませんでした。
- ・預託実効線量*は全員が1mSv未満でした。

※預託実効線量は、体内に取り込まれた放射性物質から将来にわたって受け続ける被ばく線量を推計した数値で、健康への影響の可能性を推計しています。年間1mSv未満が、一般的に健康に影響がないとされている基準です。

◇ 尿による内部被ばく検査 ◇

検査の人数：144人（尿2L, 500ml, オムツでの受検の合計数）

検査結果：●検査した検体の平均尿中放射性セシウムは0.052Bq/kgでした。前年度の結果と比較して減少しています。

- 預託実効線量*は、基準となる1mSvを大きく下回っていました。

◇ 甲状腺検査 ◇（対象者：震災当時39歳以下の方）

検査の人数：228人

検査結果

	人数	A1	A2	B	C
総 数	228	80 (35.1)	140 (61.4)	8 (3.5)	—
0～18歳	144	52 (36.1)	89 (61.8)	3 (2.1)	—
19～39歳	84	28 (33.3)	51 (60.7)	5 (6.0)	—

※年齢表示は震災当時のものです。下段カッコ内は%を示しています。

※甲状腺検査判定基準

- A1…結節や嚢胞を認めなかったもの
- A2…5.0mm以下の結節や20.0mm以下の嚢胞を認めたもの
- B…5.1mm以上の結節や20.1mm以上の嚢胞を認めたもの
- C…甲状腺の状態等から判断して直ちに二次検査を要するもの

平成29年度内部被ばく検査の実施について

ホールボディカウンター（WBC）による検査（随時受付）

- いわき事務所・埼玉支所では随時、車載式WBC検査は9月に実施します。
- 7月15日発行のふたばのわ7月号にご案内と申込書を同封しております。

尿による内部被ばく検査
（申込み期間：12月まで）

- 7月15日発行のふたばのわ7月号に今年度の尿検査のご案内と申込書を同封しました。

甲状腺検査（医療機関で個別受診）

- 5月に甲状腺検査のご案内を対象の方にお送りしました。
- 福島県立医科大学の甲状腺検査も受検してください。



婦人学級の活動報告



婦人学級は、学級生の皆さんの教養を高め、充実した生活を送ることを目指し、さらに、各避難先において様々な活動を通して、絆の維持、親睦を図ることを目的として活動しています。

5月に各婦人学級で開級式を行い、今年一年間の活動計画や役割分担などを参加した学級生の皆さんで話し合いをしました。どの学級もとても積極的に活動を行っており、充実した内容となっています。

まだ婦人学級へ参加したことがない方は、お住まいの近くの学級へ参加してみてもはいかがでしょうか。

開級式（郭内第一仮設集会所）



ひまわり婦人学級 （白河市）

5月24日、19の方が出席しひまわり婦人学級の開級式が行われました。

6月の活動では、14日に南湖公園周辺のゴミ拾いを行い、7月の活動では、12日に講師の先生を招いて浴衣の着付け教室を行いました。帯を結ぶのに苦労しましたが、最後には全員が自分できれいに浴衣を着ることができるようになりました。

6月の活動 南湖公園の清掃



7月の活動 浴衣の着付け教室



開級式（加須市 ふたば交流広場）



はなみずき婦人学級 （加須市）

5月11日、23の方が出席し、はなみずき婦人学級の開級式が行われました。

6月の活動では、8日に食事会を行いメンバーの親睦を深めました。とても楽しい食事会となりました。

6月の活動 食事会





開級式（福島市 アオウゼ）

梅檀婦人学級（福島市）

5月16日、14人の方が出席して梅檀婦人学級の開級式が行われました。

6月の活動では、こけ玉作りをしました。初めて経験する方が多くいましたが、皆さん手際よく作っていました。

7月の活動では、男性の方も参加して粘土でそれぞれいろいろな形の陶芸作品を作りました。



6月の活動 こけ玉作り



7月の活動 陶芸教室

桜婦人学級（いわき市北部）



6月の活動 現地研修（ブルーベリー農園）



開級式（いわき市文化センター）

5月18日、24人の方が出席して桜婦人学級の開級式が行われました。

6月の活動では、つくば方面へ現地研修を行い、筑波宇宙センターの見学とブルーベリー摘み取りを体験してきました。



6月の活動 帽子作り

5月17日、14人の方が出席してしらゆり婦人学級の開級式が行われました。

6月の活動では、帽子作りを行いました。皆さん和気あいあいとした雰囲気の中で、色とりどりの帽子を縫い上げていきました。

しらゆり婦人学級（南相馬市）



開級式（原町生涯学習センター）

すみれ婦人学級（いわき市南部）

5月8日、8人の方が出席してすみれ婦人学級の開級式が開催されました。

6月の活動では、新しいタブレットの使い方を皆さん真剣に勉強しました。

7月の活動では、スマイルトレーニングを行い第一印象を変えていけるよう練習しました。トレーニング後の皆さんはとても素敵な笑顔になりました。



開級式（いわき事務所 大会議室）



6月の活動 タブレットの使い方



7月の活動 スマイルトレーニング



7月の活動 現地研修（山形県）

4月27日、15人の方が出席してたんぽぽ学級の開級式が開催されました。

5月の活動では、ヨガ教室を行いリラックスした中で身体をほぐしました。

6月の活動では、山形県の東沢バラ園に現地研修を行い、バラの良い香りに包まれてきました。

たんぽぽ学級（郡山市）



開級式（郡山市 せんだん広場）



6月の活動 ヨガ教室

会津ふたば学級（会津若松市）



開級式（会津若松市第二中学校西仮設 集会所）

5月15日、10人の方が出席して会津ふたば学級の開級式が開催されました。

6月、7月の活動では、パッチワーク教室を行い、自分の作品を作り上げました。



開級式（並木連絡所）

つくば・ふたば婦人学級 （つくば市）

5月12日、18人の方が出席してつくば・ふたば婦人学級の開級式が開催されました。

6月の活動では、世界遺産である群馬県の富岡製糸場とこんにやくパークへ現地研修を行いました。天候にも恵まれ、参加した皆さんで楽しい時間を過ごしました。

世界遺産の見学ということで、大変貴重な経験を行うことができました。



6月の活動 現地研修（群馬県）



ひめ萩婦人学級（仙台市）



開級式（青葉区中央市民センター）

5月19日、8人の方が出席してひめ萩婦人学級の開級式が開催されました。

6月の活動では、山形県へ現地研修を行い、東沢バラ公園散策、サクランボ狩りを楽しんできました。

7月の活動では、健康講座を行い、自分の身体は自分で守るということを再確認した活動となりました。



6月の活動 現地研修（山形県）



7月の活動 健康講座

双葉町社会福祉協議会

～ 8月健康運動教室、社協サロンのお知らせ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

会 場	問い合わせ・申込先	開催月日	時 間
健康運動教室 （内容：健康講話、相談、運動機能の維持・向上等）			
北幹線第二応急仮設住宅集会所 （福島市飯坂町平野内小原田 8-1）	☎ 080-6033-1196（小林）	毎週 木曜日	13:30～15:00
郭内第一応急仮設住宅 A4-2 （白河市郭内 151-41）	☎ 080-6290-5930（小泉）	毎週 火曜日	10:00～11:30
南東北総合卸センター 2 階第 6 会議室 （郡山市喜久田町卸 1 丁目 1-1）	☎ 024-973-5291（開発）	毎週 水曜日	13:30～15:00

社協サロン（内容：健康講話、相談、趣味、生きがいづくり交流等）

※社協サロンでは昼食を準備しますので事前に申し込みをお願いします。

サンライフ福島 （福島市北矢野目字檀ノ腰 6-16）	☎ 080-6033-1196（小林）	8月25日（金）	10:00～13:30
かしま交流センター 2 階大ホール （南相馬市鹿島区横手字川原 186-1）	☎ 0246-38-7105（渡辺）	8月31日（木）	10:30～14:30

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 郡山事務所 ☎ 024-973-5291 【担当：開発】

消防署からのお知らせ

～ ルールを守って楽しい花火遊び～

夏の風物詩である花火も、原料は火薬であることを忘れてはいけません。間違った使い方をすれば、火事や思わぬ事故につながります。花火で遊ぶ時は使用方法、マナーを守りましょう！

花火をするときは・・・

- ・ 風の強い日は、花火の使用を控えましょう。
- ・ 花火を人や家に向けたり、燃えやすい物の近くでは遊ばないようにしましょう。
- ・ 水の入ったバケツを準備しましょう。
- ・ 子どもだけでなく 大人と一緒に遊びましょう。

花火がおわったら・・・

- ・ 完全に消火し、燃えかすなどのゴミは持ち帰りましょう。

**「花火遊びは迷惑にならない時間と場所と後始末!!」**

< 消防署連絡先 > ・浪江消防署 ☎ 0240-34-7360
・富岡消防署 ☎ 0240-25-2119



双葉の風だより



全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

咽ぶ様な 朧残月 朝露光る
梅雨の海 渚打つ波 音も無く
朝露を 誘い運ぶ 青い風
柏の葉 臭う故里 かまどの灯
紅バラに 吾が物顔で 蜂二つ
紫陽花の 花が誘う 薬師寺

武内 恒雄（長塚二）

「逝きし父思う」

父つけし 我が名敏江や 冬帽子
父の汗 拭うがごとく 牌撫でる
孫愛す 家族写真や 野球かな
怒ることなき 父が立つ 彼岸花
父や父 思い出よぎり 初夏の風
父さんや 山の向こうの 雲の峰
父の手や わが手を握り 滝落ちる
― 後記 ―

父が天国へ旅立ちはや一年になります。父を偲んで俳句を投稿します。父のありし日の暮らしの中で身の回り等を、寂しく感じたことを表現したつもりですが季語の解釈により人それぞれ私の俳句を解釈して下さいませ。駄句でご免なさい。

井戸川 敏江（中田）

【随想】

Pコンフト（Excel「エクセル」）の思い出

盛夏の候となりました。日中はかなり暑い日もありますが、窓を開ければエアコンのお世話にならずに済むため、いわき市での生活には東北の湘南を実感しております。

さて、正確な年代は忘れましたが昭和50年代半ば頃でした。浪江駅前に株式会社協和マイクロの支店がありました。本社はいわき市平で事務用品や学習用品の卸売りやレンタルなどが主な事業のようで、年2回正月とお盆に憩いの村なみえの大会議室でパソコン等の展示会を開催し、そこでアップルコンピュータのノートパソコン、マッキントッシュのデモンストレーションがあり、表計算ソフトエクセルの実演もありました。そこで初めてエクセルを体験、コマンドΣ（シグマ）のスピーディーな動作や使いやすさに圧倒されました。当時エクセルはマッキントッシュパソコンの専用ソフトであり、NECのデスクトップパソコンを使用していた私はエクセルの経験がなく、それらの動作には感動するとともに、憧れを禁じ得ませんでした。

その後、アップルコンピュータの展示会が毎年千葉市の幕張メッセで開催されることを知り、続けて4回も見学に行きました。最後の展示会では当時アップル社CEO（最高経営責任者）であったステイブ・ジョブズ氏の講演会があり、同時通訳でしたが彼の情熱を感じることができました。また、講演会の開催時刻が11時でしたので、いわき市平駅から始発に乗り、東京駅で京葉線に乗り換えて京浜幕張駅から小走り3分くらいで会場に到着しましたが、満員でしたので階段に腰かけての受講でした。

後にネットでMacのデスクトップパソコンを購入しエクセルを使うことができました。あれから時は過ぎ、震災ですべてを失いましたが、今ではWindowsパソコンでもofficeをインストールすることでWordはもちろんエクセルも使えるようになりました。シリコンバレーで開発に情熱を捧げられた方々への感謝の念を忘れることなくITのお世話になってまいります。

ITこそ日々「未知との遭遇」なのです。

平成29年8月

古室 仁（浜野）

人のうごき6月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
根本 麻由	5月29日	和起・菜々穂	下条
遠藤 綾乃	6月14日	智之・佳奈	長塚二
佐藤 亜樹	6月23日	明宏・正美	長塚一

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
中野 保	96	5月27日	羽鳥
酒井 忠雄	89	6月4日	浜野
山田 操	84	6月7日	長塚二
瀬戸ミツ子	89	6月15日	下条
渡邊 俊綱	95	6月23日	三谷
渋谷 民子	83	6月25日	細谷
荒木ナツコ	85	6月27日	浜野

双葉町民の避難状況

（平成29年6月30日現在）

- ・福島県内に避難されている方 4,075人
- ・福島県外に避難されている方 2,871人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第51号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日どのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

掲載する文章は、株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課

☎ 0246-84-5202

谷 尚之さん
ひさゆき

(三字)



●避難先●
東京都足立区



妻・啓子さんとともに

被災時に「不幸中の幸い」だったこと

平成22年、東京都在住の三女が、私たちのもとで里帰り出産をしました。新しい孫が誕生し、母子ともに状態も落ち着いてきたため、同年末、東京に戻りました。そのため、再び夫婦2人だけの年越しとなりましたが、本格的な春の訪れを目前に被災し、三女や孫が帰った後の発災で「不幸中の幸い」と感じる反面、これからは、娘たちは里帰り出産をできないかと思うと、複雑な気持ちになってしまいうこともあります。

停電せずテレビを見られたが

地震で自宅内のモノは散乱しましたが、建物に大きな損傷や停電は無く、最小限に片付け、妻とともに夜を明かしました。テレビで津波被害や首都圏の帰宅難民の様子が映し出されましたが、原発が深刻な状態になっているとは分らず、翌朝からは復旧作業に本腰を入れようと思いませんでした。

同じ「川沿い」とはいえ

被災翌朝、避難指示が出されたために向かった川俣町の避難所で原発の爆発を知り、その後、一緒にいた知人と共に関東方面に向かい、東京都内に住む三女一家のもとに身を寄せ、その2カ月後、都営住宅「白鷺アパート」(中野区)に入居しました。同住宅には、原発事故による避難者が数多くい

て、地域の皆さんの協力を得ながら互いに励まし合って生活することができました。

同住宅は比較的新しく、周囲には公園も整備され、生活環境は悪くありませんでした。また、住宅前には川が流れていましたが、水はそれほど汚れていないものの、全体がコンクリートで固められ、自宅前を流れていた前田川の自然豊かな姿とは程遠いものがありました。

避難先での「コミュニティづくり」

娘たちの住まいや故郷との行き来を考えた地域に自宅を求め、平成27年末に移りました。自宅前は小河川を活用した親水公園になっており、多少落ち付けるような環境です。

故郷を離れてから、いわきナンバーを見かける度に「同じ避難者では？」と気持ちがかき立てられたことが何度もありました。そうした中、避難者同士の茶話会などに誘われ顔を出すようになりました。

その後、「東京ふれあい双葉会」に参加し、皆さんからの推挙を受け、現在、代表を務めさせていただいています。会では、バーベキューや忘新年会など、季節に合わせた催しを年に数回実施しています。故郷の思い出や近況などをお互いに話しながら「気楽で楽しい時間」を創っていきたいと思いますので、どうぞお気軽にお声掛けください。

【連絡先】090(7072)0959【谷尚之携帯】



妻・厚子さんとともに

いわもと ぜんいち
岩元 善一 さん

(長塚一)



●避難先●
福島県南相馬市

約1年半で終わった「悠々自適の日々」

平成17年、勤務していた銀行を定年で退職し、20年以上続いた単身赴任生活に別れを告げ、故郷で多くの時間を過ごせるようになりました。悠々自適の日々とはいえ、手薄にしていた地元の付き合いや、田畑の手入れなど、それなりに動き回る日々でした。

そんな中、ふたば福祉会が運営する特養ホーム「せんだん」の施設長を引き受けてほしいとの話があり、長い間、地元を留守にして働くことができたことへの恩返しのような気持ちで、平成18年11月より、その役職を受けさせていただきました。

組織改革に区切りが付いた矢先に

施設長に就任した直後、町財政の非常事態に伴い町からの支援が受けられなくなる中、会の財務状態も悪化するなど、経営の立て直しを迫られる事態になりました。「経営改革」という言葉だけみれば立派なものですが、それを進めるにあたって、職員の皆さんには大変な苦勞をかけてしまったと申し訳ない気持ちでした。

就任以降、様々なことはありましたが、平成22年度には問題をほぼ解決でき、より一層進むであろう高齢化に対応するため、役職員一同、心を一つにして新たな一歩を踏み出そうとした矢先、震災と原発事故に見舞われました。

放射能は「水」で落とす

原発事故による避難指示が出され、双葉高校グラウンドからヘリコプターによる入所者の移送に付添い、途中、原発の爆発による中断を経て、3月13日、最後の飛行で福島県男女共生センター（二本松市）に向かいました。到着後のスクリーニングで「体を水洗い」するよう除染指示を受けたため、寒さの中「冷水」のシャワーを浴びましたが、後に、あくまで「水」であれば冷温間わないことを知り何とも言えない心境でした。

ようやく始まる「セカンド・ステージ」

入所者の移送先に目途が付き、お世話になっている各施設を訪問する中、南台仮設住宅内にグループホームを開設しました。その後、本格的な施設設置の要望に応えるため特養ホームを建設し、関係各位のご協力のもと、先月、開所することができました。故郷を離れてから6年以上経過しましたが、置かれた環境は全く違うながらも、震災により止まってしまった「セカンド・ステージ」をようやく踏み出せるようになったと感じています。また先月、施設長の職を後任に譲り、非常勤ではありますが会の役員を務めさせていただいております。

避難後、南相馬市内に家を建てましたが、今後は妻とともに、人生の「セカンド・ステージ」を過ごしていきたいと思っています。

株式会社 伊達屋

代表取締役

よしだ ともなり
吉田 知成さん(町内事業再開)
長塚一

家業とサラリーマン生活

高校を卒業し、大学進学を経て燃料販売会社に入社しました。今思えば、幼い頃から慣れ親しんだ家業と同じ業種に身を置くことは自然な流れだったのかもしれない。そして約5年間勤務した後、自動車販売会社に移り、震災当時、東京都内の輸入車販売店舗に勤務していました。

未曾有の被害と「伊達屋軍団」

発災後、両親らと姉一家を受け入れるため、可能な限り行動しました。後日、多くの皆さんから、父や義兄が店に在庫していた灯油をタンクローリーに積み込み、川俣町内の避難所を回って暖房用燃料を配り歩き、「伊達屋軍団」と親しみを込めて呼ばれたという話を聞いた時には、頭が下がる思いでした。一方、ガソリンスタンドは避難先開業が難しく、両親らは商売をたたむ決断をしました。

将来に向けた「新しい故郷づくり」

震災が一つのきっかけとなり、避難まで故郷で生活していた同級生らとより多く交流するようになりました。そうした中、今後本格化する双葉町内における復興作業で燃料供給のニーズがあることを知り、家業を通して「新しい故郷づくり」に少しでも貢献できるのであればと腹を据えました。震災まで父やその片腕となっていた義兄に相談した

ところ、力を貸してくれることになったため、勤務先を退職し、震災後体調を崩した父に代って事業再開に向けて行動を始めました。

除染や各種許認可等の手続きなど開業準備に1年以上を費やすなど、簡単ではありませんでしたが、6月初旬から店を開いています。事業再開についてマスコミで報道され、応援の声を数多くいただきましたが、その反響の大きさに驚かされると同時に、スタッフ一同、大きな励みになっています。

住民が帰還していない中、震災以前同様の商売はできませんが、一時立ち入りの時など気軽に立ち寄っていただき、皆さんにとって、故郷での再会・出会いの場を提供できればと思っています。また、そうしたことが、新しい故郷づくりに繋がればと考えています。



【伊達屋 双葉6号SS】

(営業日時帯) 月～金・午前9時～午後6時
(住所) 双葉町大字長塚字町東66-1
(電話) 0240-33-2212

スタッフ募集中! (お気軽にご連絡ください)

ぼくの夢・わたしの夢



郡山市立桜小学校 6年 羽根田 将吾くん(長塚一)

ぼくは今、学校の特設水泳部に入っています。

水泳は、ふたば幼稚園の時から習っていました。7月末に行われる、郡山市の全小学校の水泳交歓会という大会があります。ぼくは、学校の代表として25メートル自由形とリレーに出場するため、毎日放課後に練習をしています。ぼくは、大きな大会に出るのは初めてなのでとても緊張しています。

ぼくの目の前にある夢は、大会で一秒でもタイムを早くして3位までに入賞することです。

そしてこれからの将来の夢は、色々なことに挑戦したり、たくさん経験したりして、どんな仕事についても生かせるような大人になりたいです。

今月のベストスマイル



編集後記

夏本番を迎え、連日厳しい暑さが続いています。力強い蝉の鳴き声が朝から聞こえてくると、暑さが2倍にも3倍にも感じるような気がします。

今月の表紙は、双葉郡スポーツ交流大会に出場した双葉町野球チームのピッチャーが全力投球している場面です。

各避難先での生活に慣れ、双葉町とのつながりが薄れてしまいがちとは思いますが、町民の皆さんも、このような大会で選手の皆さんが双葉町を背負って頑張っているニュースを聞くと、きつとうれしくなるのではないのでしょうか。

今回の双葉郡スポーツ交流大会は、4月に避難指示が解除された浪江町で震災後初めて開催されました。人がいなかった町で、はつらつとした声が聞こえ、笑顔が見られたということはとてもうれしく、明るい話題です。今後、双葉町での開催が実現することを強く願いました。

熱帯夜が続いていますので、睡眠不足で夏バテにならないようにしっかりと栄養をとり、この暑さを乗り切りましょう。

いわき・まごころ双葉会の七夕飾り制作に参加していた朝川洋一さん(渋川・左)と横山勝朗(長塚一)さんの笑顔です。



連絡先

○いわき事務所
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4

○郡山支所
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号

○埼玉支所
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階

○双葉町公式ホームページ
<http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

携帯サイト
<http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/m/>

☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」
<http://futabanowa.wordpress.com/>

○双葉町復興ポータルサイト
<http://www.futaba-fukkou.jp>

